

<内定先>

業種：地方公務員（一般事務）

選考フロー：1次試験（筆記試験）→2次試験（面接）→3次試験（最終面接）

※筆記試験は一般教養と専門科目、論作文。

※2次試験の面接は個別形式で人事院面接。

※3次試験の面接は個別形式で、希望自治体で行われる面接。

<就職活動の流れ>

2017年5月～

- ・学内公務員講座受講

2017年9月～12月

- ・公務員、民間企業の説明会に参加。

⇒業種の特徴を知る、比較する。

⇒公務員志望のため、民間の業種を絞って情報収集した。

2017年12月～

- ・筆記試験に本腰を入れた。
- ・講座模試や産経模試などを受験し、苦手を把握。
- ・民法と数的処理が不得意→不得意・得意科目含め10時間/日ほど学習。

2018年2月

- ・就活用写真撮影

2018年3月

- ・願書を書き始めた。

2018年4月

- ・インターネット申し込み開始
- ・4月下旬から1次試験が始まる。

2018年5月

- ・1次試験（複数併願の為、2回）

2018年6月

- ・1次試験(併願4つ目)

2018年7月

- ・2次試験(面接)

2018年8月

- ・3次試験(最終面接)

2018年9月

- ・最終合格→内定

- ・論作文対策は2018年3月から開始。友人と協力して20テーマを用意。

→本番同様時間を測って書いてみることをお勧めします。

- ・面接対策は2018年5月から本格的に開始。

→キャリアセンターやハローワークなど複数活用して面接に慣れておくが良いと思います。

<インターンシップは参加すべきか>

できれば参加した方が良い。参加することで具体的にどのような業務を行っているのか、そこでの業務内容や環境などが、自分自身に適しているのかを知ることができるからである。また、自治体であれば具体的にどのような政策を行っているのか、その現状や課題を知ることができる。インターンシップに参加することのメリットは、そこでの経験を面接時に自身のエピソードとして語るができることだと思う。

<就活の軸は何だったのか>

幅広い業務を経験できる仕事であること、自身の能力を高められる環境であること、そして趣味の時間を確保できる仕事であることを軸にしていた。

<就活に関する相談はどこでしていたか>

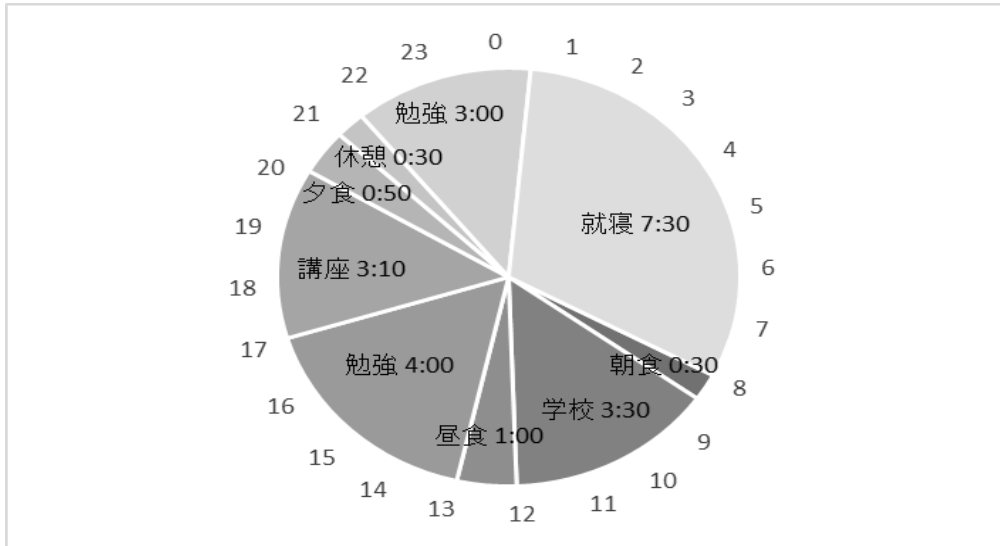
学内講座やキャリアセンターを活用し、そこに相談していた。相談はもちろんのこと、履歴書や論作文の添削、面接対策などもしてもらった。

<民間企業と併願をしていたか>

民間企業とは併願をしなかった。自身の性格を考慮し、両立するのは難しいと考え、まずは第一志望である公務員試験に専念した。

<就職活動中のアルバイトについて>

就職活動中はお休みをもらい、アルバイトはしていなかった。具体的には3年次である2017年1月から2018年の9月上旬までである。就職活動期間中は、これまでに貯めていたアルバイトの費用と奨学金でやり繰りをしてきた。



就職活動時の1日のスケジュール

上の図は筆記試験以前における就職活動時の1日のスケジュールである。公務員志望だったため、筆記試験の勉強を中心に行っていた。1日に平均7時間、多いときは10時間ほど勉強していた。

<就職活動を終えて反省点>

大学1~2年次の時から就職活動について考えておくべきであった。具体的には、1~2年生も参加のできるインターンシップに参加したり、自己分析をして自分と向き合ったりというような活動である。つまり、早い時期から様々な経験をして、自分を知る機会をつかっておいたならば、面接時により深く内容の詰まったエピソードを話せたのではないかと感じた。

<最後に>

就職活動に対して不安を抱えている方も多いと思います。私もそのうちの一人でした。だからこそ後悔しないように、できることを全力で行いました。具体的には試験勉強や説明会への参加、面接・集団討論の練習等です。筆記試験の過去問を10年分解いたり、キャリアセンターの先生方や友人と何度も面接練習を行ったりしました。その結果、周りの方々の支えもあり、第一志望先から内定をいただくことができました。就職活動で大切なことは、自身が後悔しないことだと思います。だからこそ早めに情報収集をし、計画を立てて実行することが大切だと思います。応援しています。